

トピックス

ノロウイルスの検出状況

(平成 15 年 1 月 31 日現在)

ノロウイルス等によると考えられる冬季の感染性胃腸炎流行は昨年末に大きな峠を越しましたが、今年に入ってからも定点医療機関 1 施設当たりの報告患者数の平均が 4~6 程度と、未だ多数発生しています。この感染症発生動向調査事業での感染性胃腸炎の診断を目的として、県内の医療機関等から県衛生研究所へ搬入された糞便 36 検体のうちの 21 検体(21/36、58.3%)、及び吐物 10 検体のうちの 3 検体(3/10、30%)からノロウイルスが検出されました。

一方、平成 15 年 1 月に愛知県内で発生した非細菌性胃腸炎集団発生事例の患者からもノロウイルスが検出されていますので、特に食品取り扱い者は手洗いを励行し、食品の取り扱いには注意してください。また、胃腸炎患者の吐物からもノロウイルスが検出されおり、吐物から発生した飛沫などによる空気感染、ドアの取っ手等を介した感染も考えられるとして、ウガイや手洗いの励行が感染予防に重要だと指摘されています。

ノロウイルス検出状況

感染症発生動向調査	11月	12月	合計(陽性率)
陽性数/糞便検体数	10月20日	11月16日	21/36 (58.3%)
陽性数/吐物検体数	2月7日	1月3日	3/10 (30.0%)



流行状況

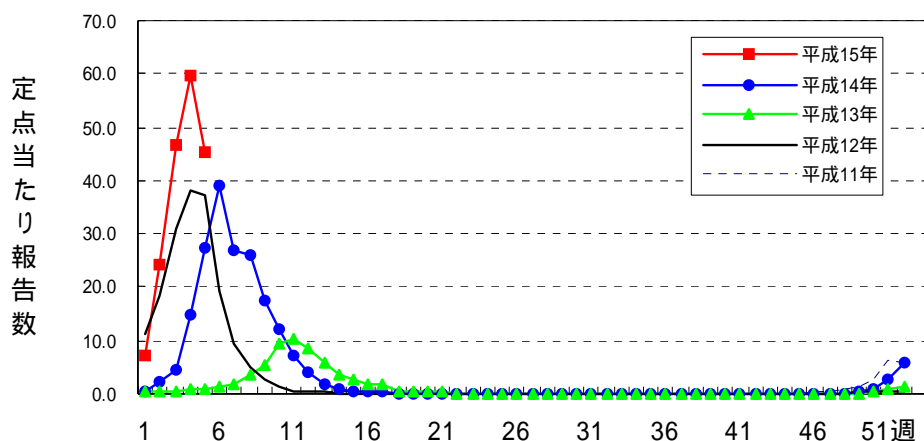
インフルエンザ

定点当たりの報告数は 45.3 (前週 59.5) とピークを過ぎたように思われますが、今後も注意が必要です。

インフルエンザの予防にはワクチンの接種が有効です。一般に、ワクチンを接種しておくこと、たとえインフルエンザを発症しても、軽症で経過することが期待できます。ただし、ワクチンの十分な効果を得るためには早期のワクチン接種が大切です。

また、早期に抗インフルエンザウイルス薬を使用することによって多くの場合治療可能ですので、もし、インフルエンザを発病したことが疑われる場合（具体的には突然の上気道炎症状、38 を越える高熱、全身倦怠感等の全身症状等）には、すぐに医療機関を受診されることをお勧めします。

インフルエンザ



感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

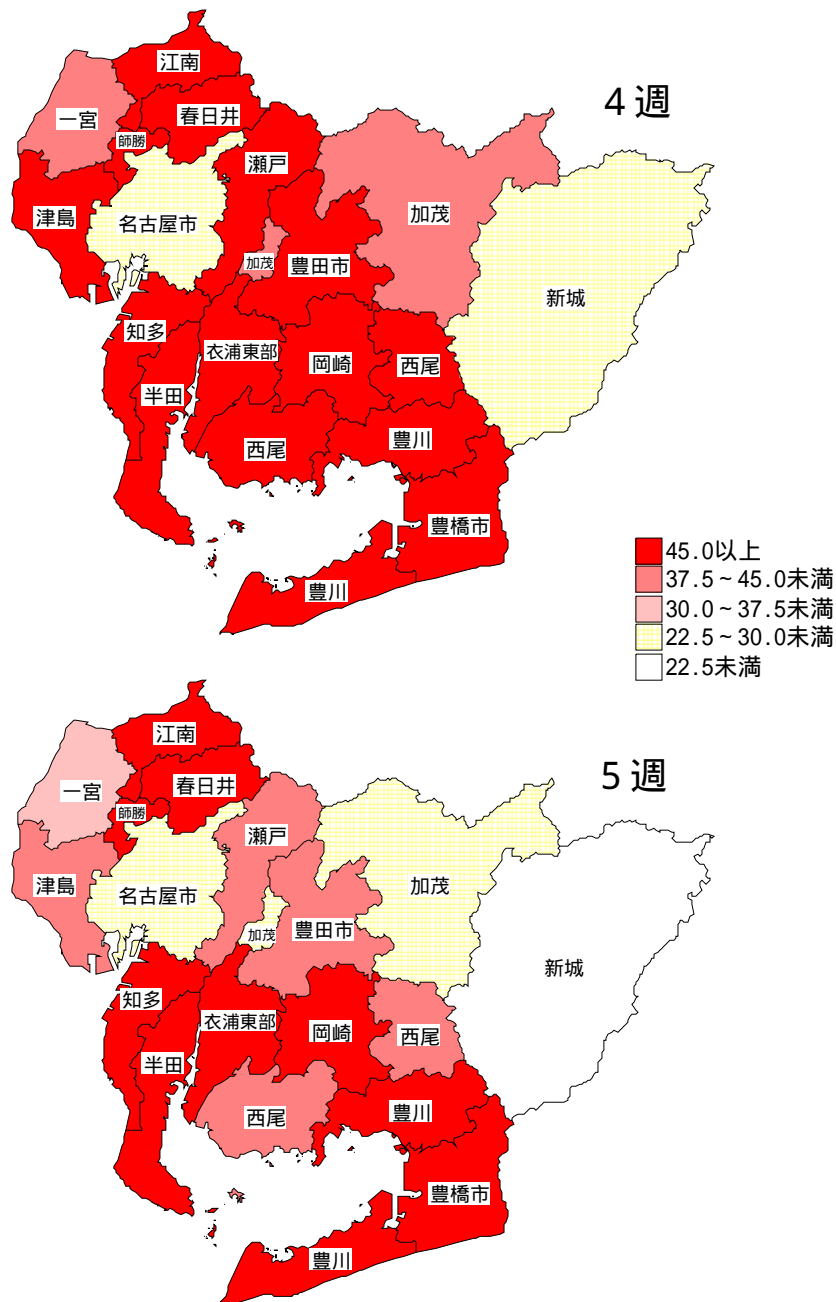
厚生労働省インフルエンザ対策キャンペーンホームページ

インフルエンザQ & A、キャンペーンポスターなどがダウンロードできます。

<http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/>



インフルエンザの保健所別報告数の推移（名古屋市含む）



	4週	定点 当たり	5週	定点 当たり		4週	定点 当たり	5週	定点 当たり
名古屋市	2055	29.36	1796	25.66	岡崎	1301	118.27	756	68.73
瀬戸	481	53.44	381	42.33	衣浦東部	1389	126.27	1131	102.82
津島	356	50.86	264	37.71	西尾	337	67.40	224	44.80
師勝	343	85.75	210	52.50	豊田市	625	78.13	358	44.75
一宮	698	43.63	581	36.31	加茂	116	38.67	70	23.33
春日井	972	108.00	725	80.56	豊橋市	620	77.50	538	67.25
江南	350	58.33	272	45.33	豊川	654	72.67	551	61.22
半田	442	73.67	288	48.00	新城	53	26.50	27	13.50
知多	564	80.57	487	69.57					

は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるインフルエンザの流行発生警報の開始基準値は定点当たり 30 人、継続基準値は 10 人です。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌 O1 4 歳女、14 歳女、25 歳女
病原性大腸菌 O18 1 歳女、1 歳男
病原性大腸菌 O25 12 歳女
病原性大腸菌 O166 38 歳女
マイコプラズマ 8 歳女
インフルエンザ流行中です。

(尾西市 城後小児科)

インフルエンザ A 型 20 名、B 型 2 名

(一宮市 後藤小児科医院)

インフルエンザ減ってきました。

44 人全て A 型、ワクチン接種者 (1 回) 3 人、(2 回) 6 人

(一宮市 あさのこどもクリニック)

インフルエンザは全て A 型です。

(一宮市 平谷小児科)

1 月 27 日よりインフルエンザ B 型が検出 (3 名) しました。

(稲沢市 医療法人野村整形外科)

CRP^{*1} の高い症例でインフル A B クイック^{*2} 生研の擬陽性例があります。
サンプルの希釈では特異性があがらず無効で、ブロッキングや反応温度の
コントロールが必要と思われます。希釈するなら抗体を希釈するべきと思
います。

(犬山市 武内医院)

*1 CRP: 各種の感染性疾患・炎症性疾患の血清中に見出される C 物質 (肺
炎レンサ球菌の細胞壁に存在する多糖体) 反応性タンパク

*2 インフル A B クイック: インフルエンザ迅速診断キット

インフルエンザ 少し減少してきました。(A 型 61 名、B 型 5 名)

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

A 型インフル 66 例 ワクチン接種 8 例

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

インフルエンザ検査した中では全て A 型でした。

(春日町 丹羽医院)

39 歳男、46 歳男 B 型インフルエンザ

(師勝町 田中クリニック)

尾張東部地区

インフルエンザは増加はしていません。

B型が2例ありました。

約1割はワクチン接種済です。

マイコプラズマ肺炎もあり(3例)、A型インフルエンザとの合併が2例ありました。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

先週一旦落ち着いたようでしたが、今週より再びインフルエンザ増加(36名)。ほぼ全年齢にわたってみられます。ほとんどがA型でした(B型は2名のみ)。

水痘、溶連菌感染症、流行性耳下腺炎も流行みられます。

その他、嘔吐、下痢少数あり。

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

インフルエンザ多数つづいています(全てA型)。

(春日井市 朝宮こどもクリニック)

今週はインフルエンザが多くみられました。

ワクチン接種してある児も感染していますが、その様な人はタミフル^{*3}2日分服用にて熱も下がる様です。

水痘もみられました。

(春日井市 かちがわ北病院)

*3 タミフル：インフルエンザ治療薬

キャピリア^{*4}、エスプライン^{*5}で全例インフルエンザA型

(春日井市 竹内医院)

*4 キャピリア：インフルエンザ迅速診断キット

*5 エスプライン：インフルエンザ迅速診断キット

インフルエンザA流行中 発熱3日以上続く児は二峰性発熱多し。

(小牧市 小牧市民病院)

雪の後インフルエンザは減少しています。

(小牧市 志水こどもクリニック)

インフルエンザは減少傾向か。

(半田市 医療法人林医院)

インフルエンザ29名 内B型インフルエンザ5名

(内インフルエンザA BクイックテストにてA Bとも陽性例2名あり)

(南知多町 医療法人大岩医院)

感染性胃腸炎の散発(嘔吐を主訴)

インフルエンザA型が主、B型は1例のみでした。

(東海市 小児科ハヤカワ医院)

週末からインフルエンザが少し減ってきたようです。

(大府市 まえはらこどもクリニック)

<月報コメント>

若い世代の淋病への認識不足に唖然とする。2人での来院を促している。

(東郷町 医療法人バク諸輪診療所)

西三河地区

ロタウイルス 5名(9ヵ月男、11ヵ月男、1歳男 2名、2歳女)

インフルエンザは31名すべてA型

(ワクチン1回接種3名、2回接種5名)

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

ロタウイルス 1歳男

溶連菌感染後急性糸球体腎炎 7歳男

インフルエンザA型 12名(ワクチン接種2名)

マイコプラズマ肺炎 2名(2歳女、2歳男)

(豊田市 医療法人やふそ小児科)

9ヵ月女、2歳男 ロタウイルス(+)

(岡崎市 医療法人深田小児科)

3歳女、15歳女 病原性大腸菌O1

1歳女 ロタウイルス(+)

インフルエンザB(+)が6例

1歳女 3歳男 28歳女 流行性角結膜炎(家族性)

(岡崎市 花田こどもクリニック)

4歳女 カンピロバクター、病原性大腸菌O1 VT(-)

(岡崎市 にいのみ小児科)

10歳女 病原性大腸菌O1

インフルエンザB型 1名

(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)

インフルエンザB型 1名

50歳以上は52歳女(ワクチン未接種)、77歳女(ワクチン接種済)

(岡崎市 粟屋医院)

A型インフルエンザ25名(5名家族内発症、3名ワクチン接種済)

25名インフルABクイック A(+)

(岡崎市 永坂内科医院)

インフルエンザA型45名 B型2名

ワクチン接種済は70歳台夫婦に発症とその他3例

(岡崎市 村山医院)

インフルエンザ減少してきた。A型143人 B型2人

(知立市 宮谷クリニック)

インフルA、Bクイック 10名すべてA(+)

(西尾市 やすい小児科)

インフルエンザやや減少傾向か? B型2人(8歳男、7歳女)

(西尾市 山岸クリニック)

4歳女 病原性大腸菌O1 VT(-)

1歳男 ロタウイルス陽性

インフルエンザで検査実施した人は全員A型

(幸田町 とみた小児科)

インフルエンザ B 型がみられるようになりました。

(三好町 三好町民病院)

東三河地区

ロタウイルス腸炎 11 ヶ月男、1 歳男

(豊橋市 医療法人みやざわ小児科)

インフルエンザで熱性ケイレンあり、1 歳女 (ワクチン未接種)、2 歳男
3 名 (ワクチン 2 回接種)

(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)

シンメトレル^{*6}の効かない子が散見されます。

(蒲郡市 蒲郡市民病院)

*6 シンメトレル：インフルエンザ治療薬

3 歳女 発熱第 1 病日よりシンメトレル 4 日服薬 (1 日で解熱) (キャピ
リア A (+)) 第 5 病日再発熱、タミフル 3 日服薬、3 日目も解熱せず
(キャピリア再検 A (+))

1 歳女 発熱第 2 病日よりタミフル 3 日内服、5 日目で再発熱 前後でい
ずれもキャピリア A (+)

(蒲郡市 医療法人鈴木小児科医院)

インフルエンザ患者中に B 型のもの 4 名 このうちワクチン接種者が 3 名
ありました。

(田原町 かわせ小児科)

1～3 類感染症の発生状況 (愛知県)

発生報告なし

全数把握の 4 類感染症の発生状況 (愛知県)

急性ウイルス性肝炎 1 例 B 型 (感染経路：性的接触)

破傷風 1 例 (69 歳)

マラリア 1 例 熱帯熱マラリア (推定感染地：パプアニュー - ギニア)

レジオネラ症 1 例

第3週(15年1月13日~1月19日)の4類感染症 (全国)

インフルエンザの定点当たり報告数は急速に増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い29.15となった。すべての都道府県で定点当たり報告数が7.0を超え、特に沖縄県(82.2)、宮崎県(69.3)、鹿児島県(64.6)からの報告が多い。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなってはいない。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎は前週と比べて大きな変化はないが、依然として前者は富山県(2.6)から、後者は宮城県(14.0)、宮崎県(12.3)、三重県(11.3)からの報告が多い。風疹と麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は、それぞれ0.01と0.04と少ないが、前者では岡山県(0.2)からの報告が約半数と多く、後者では宮崎県(0.6)と福島県(0.3)とで約3割を占めた。急性脳炎(日本脳炎を除く)の定点当たり報告数が0.01とわずかに増加した。水痘の定点当たり報告数は減少したが、都道府県別では沖縄県(3.5)からの報告数が多い。マイコプラズマ肺炎(0.15)の報告数は減少したが、引き続き東北地方(0.35)の定点当たり報告数が他地区に比して多い。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

「空を飛ばうなんて……」と口ずさんでみたり、「春は名のみ風の寒さや……」とコートの襟をたてて首を縮めながら歌って、綻びはじめた梅の枝を見上げている昨今です。

いつも貴重な情報を有難うございます。1月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：第一日赤有吉先生からはインフルエンザ A とウイルス性胃腸炎が多く、病棟でもインフルエンザ A の入院と R S ウイルス感染症、急性肺炎が目立つ、千種区今枝先生からはインフルエンザ A がぼつぼつ、感染性胃腸炎がときどきあり、7 歳女兒のブドウ球菌熱傷様皮膚症候群あり、三菱病院入山先生からはインフルエンザ A 多数、肺炎・気管支炎、脱水で入院した例が 20 例（B がたはまだ出ていない）、肺炎を合併した麻疹 1 例あり、マイコプラズマ肺炎 2 例、水痘散発、労災病院山田先生からはインフル A 多発中で H1N1、H3N2 両方にペア血清で抗体上昇した例あり（ワクチン未接種）、インフルエンザの仮性クル-プや熱性痙攣合併例が目立ち、インフルエンザ B、溶連菌感染症、病原性大腸菌 O1、O25、水痘、帯状疱疹（意外に多い）、ロタウイルス胃腸炎、マイコプラズマ肺炎目立つとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは A 型インフルエンザ流行が続き感染性胃腸炎はやや減少、水痘散発、江南市昭和病院西村先生からはインフルエンザと水痘目立つ、津島市民病院沼田先生からはインフルエンザ A 型が多く B 型も数例、常滑市民病院上田先生からはインフルエンザ、ロタウイルスを含むウイルス性胃腸炎、ムンプスなどが目立ち、インフルエンザ菌髄膜炎が 1 例ありとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはインフルエンザ A が多発、熱性痙攣で入院例あり、R S ウイルス感染症とロタウイルス感染症散発中、安城更生病院小川先生からはインフルエンザ A が流行中でインフルエンザによる熱性痙攣で要入院例ありロタウイルス胃腸炎、水痘が目立つ、知立市近藤先生からは A 型インフルエンザが流行中で（47 / 66 例で A 型陽性、肺炎や熱性痙攣合併例目立つ）ロタを含む嘔吐性感冒が多く、水痘とムンプスが散発中、感染性下痢症は少ない、刈谷市田和先生からはインフルエンザ多発中で A・B 共に陽性の例、B 型各 1 例以外は全部 A 型、嘔吐症（下痢を伴う例もあり）、溶連菌感染症、水痘、ムンプス、碧南市永井先生からはインフル流行（B 数名で殆ど A 型）、ロタウイルス感染症もみられる、豊橋市からは水痘散見、インフルエンザ A 型、ロタウイルス腸炎、が目立つとのお手紙でした（市内長屋先生、宮澤先生）。有難うございました。

2002 年 12 月 13 日 (77 巻 50 号)

世界のエイズ / HIV 感染症第二部。本報告は前号に続きエイズ / HIV サ - ベイランスの意義と方法論のまとめを紹介している。エイズサ - ベイランス : 02 年 11 月 22 日時点で WHO に 2,822,111 例の報告があり、前年比 1.4% 増であるが報告数に問題がある ; 途上国など頻度の高い地区の報告数は実態の 10% 以下と推定され、先進工業国では 75 - 94% と推定される。この報告のずれが世界全体の状況把握を困難にしている。

また、報告のための診断基準が地区により異なること、抗 HIV 薬剤投与普及が発病頻度に影響することも地域差に関与している。しかし男女比の変化を経時的に監視したり感染様式を地域的に比較するのには有用であり、報告精度の改善を試みつつ今後の継続が必要と思われる。HIV サ - ベイランス : 1990 年代に HIV 感染者数の調査は飛躍的に進捗したが、状況把握に適切な方法であること、実態の傾向変化を生物学的・社会的に総合すること、他の情報源と総合すること、得られた成績が国家的な状況改善策に利用されることなどが必要である。本報では具体的な例として南アフリカの妊婦の年別 HIV 陽性率の変化、ロシア・ペテルスブルグの注射薬剤常用者の陽性率変化、カンボジア売春宿における売春婦調査の結果のグラフが図示されている。

アフリカの髄膜炎菌髄膜炎対策 : アフリカの髄膜炎菌髄膜炎発生が今流行期もすでにコンゴ共和国から報告され、サハラ南縁諸国 (髄膜炎ベルト) の集団発生が予測されることから WHO、国際赤十字、国境なき医師団、ユニセフがワクチンと治療薬剤の準備を開始した。これまでは散発的発生であった W135 型の流行が予測されている。

インフルエンザ 02 年 11 月 カナダとスペイン : B 型、韓国 : A (H3N2)

2002 年 12 月 20 日 (77 巻 51 / 52 号)

77 巻 1 号 - 52 号の項目別、国別総索引。疾患別国際検疫病索引。

世界のエイズ : 経済的な問題のある国を対象として抗 HIV 薬普及のための HIV / エイズ治療国際組織が 02 年 12 月 12 日、ジュネ - ブとダカルで発足した。12 月 13 - 19 日届出 : コレラ。コモロ、ウガンダ。

		定点数																									
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎 (日本脳炎を除く)	急性脳炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
愛知県 (名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	8,659	7	164	953	294	9	30	104	0	1	1	1	84	0	24	0	0	0	0	0	0
総数 (名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	6,863	5	113	621	251	7	23	83	0	1	1	1	70	0	23	0	0	0	0	0	
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	1,796	2	51	332	43	2	7	21					14		1						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	381	1	8	37	11		1	4					9		1						
海部津島	津島	7	7	2	2	1	264		2	29	9			2			1										
尾張中部	師勝	4	4	1	1		210		5	54	2		1	1							4						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	581		14	75	35	1	3	15					8								
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	725		5	32	15	2	2	13					4		3						
	江南	6	6	1	2		272		2	41	6		1	1					6								
知多半島	半田	6	6	1	2	1	288		7	23	8			5					8		2						
	知多	7	7	2	2		487	2	5	52	16		1	4							2						
西三河南部	岡崎	11	7	2	2	1	756		15	3	26	1	3	10					11		2						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	1,131		9	46	25		6	8					10		5						
	西尾	5	5	1	2	1	224	2	2	30	7		1	3					2								
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	358		4	52	21	1		3		1			7		2						
	加茂	3	3		1		70		4	14	1			1					3								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	538		17	75	31		4	4			1		1		1						
	豊川	9	8	1	2	1	551		14	58	33	2		8					1		1						
東三河北部	新城	2	2			1	27				5			1													

*平成15年1月より岡崎保健所管内の額田郡(2定点)の報告については、西尾保健所報告となりました。

2003年第1週～第5週(平成14年12月30日～平成15年2月2日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎*	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	34,902	39	623	4,026	2,035	70	148	480	3	2	12	10	435	11	65	0	0	4	5	0	0
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	28,401	31	439	2,701	1,743	59	125	396	0	2	11	7	354	10	51	0	0	4	5	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	6,501	8	184	1,325	292	11	23	84	3		1	3	81	1	14						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,010	13	33	136	76	1	1	19		1		42		1						
海部	津島	7	7	2	2	1	988		9	155	75	2	5	17			1	5		1						
尾張中部	師勝	4	4	1	1		996		6	192	11		3	5		3		1		5						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	1,943		40	307	170	12	13	49		1		25	1	1			1			
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	3,132	3	35	150	78	9	7	36			2	1	33		8					
	江南	6	6	1	2		1,080		12	248	94	3	7	18				19		4						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,585	3	14	93	54	4	1	30			1	40		5			1			
	知多	7	7	2	2		1,691	4	23	188	116	2	1	21				4		3						
西三河南部	岡崎	11	7	2	2	1	3,193		50	17	266	5	16	45				55	1	4						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	4,493	2	51	216	196	1	23	46				49		7			2	1		
	西尾	5	5	1	2	1	873	2	34	162	89	2	17	20				18		1			1			
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,970	4	19	142	139	2	4	21		1	2	3	40	7	3			1		
	加茂	3	3		1		386		14	62	36	2		8				16								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	1,965		62	330	146	7	24	36		1		1		7				2		
	豊川	9	8	1	2	1	1,904		36	303	185	7	3	21		1	1	3	1	1						
東三河北部	新城	2	2			1	192		1		12			4				3								

平成15年1月より岡崎保健所管内の額田郡(2定点)の報告については、西尾保健所報告となりました。

*4週分追加報告あり

2003年第1週～第5週(平成14年12月30日～平成15年2月2日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎*	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
計	28,401	31	439	2,701	1,743	59	125	396	0	2	11	7	354	10	51	0	0	4	5	0	0
～6ヶ月	379		1	26	40			24					1								
～12ヶ月	778	3		176	121	3		237			2	1	5								
0歳																					
1歳	2,286	7	13	378	340	18	5	125			3	2	20		2						
2歳	2,346	7	29	278	354	13	12	7					26		1						
3歳	2,371	2	46	243	275	6	11				1	1	39		1				1		
4歳	2,516	6	80	242	297	10	17				2	1	70								
5歳	1,546	4	84	172	171	1	21						74	1	1						
6歳	1,282		61	142	61	5	22	1			1	2	50								
7歳	982	1	43	120	23	1	14						28		1						
8歳	975	1	32	108	16	1	11	1		1	1		14								
9歳	1,039		15	83	11		4				1		9								
5歳～9歳																		1			
10歳～14歳	3,892		22	220	22	1	5	1					11	1	2					2	
15歳～19歳	1,206		2	69	3								3		2					1	
20歳～			11	444	9		3			1			4								
20歳～29歳	2,105													3	11					1	
30歳～39歳	2,290													1	10					1	
40歳～49歳	919													1	8					1	1
50歳～59歳	659													2	6						
60歳～69歳	434													1	3						
70歳～															3						
70歳～79歳	259																				
80歳以上	137																				

*4週分追加報告あり